



エルム



vol.76

発行日：令和6年1月15日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会 責任者／太田 秀一

HOKUYU INFORMATION

新年のご挨拶

新しい年が明けました。令和6年、2024年、辰年のうるう年です。皆様ご存じのようにうるう年は4年に1度、100で割れる年はうるう年でなく400で割れる年はうるう年であります(2000年はうるう年でしたので多くの方が4で割れるのにうるう年でなかった年を経験したことはないはずです)。これは太陽の周りを地球が1周するのに約365.24219日かかるからで、それを調整する必要があるからです。うるう年には2月29日があり、当然ですがその日に生まれる人もいます。私の学年はちょうどそれにあたり2月29日生まれの同級生がいました。4年に1回しか年をとらないと言われてましたが注目の対象となり、平凡な日の生まれ(後に皇后誕生日になってしまったのですが)の私としては注目が集まらずほっとしていたことを記憶しています。なぜか、子どものころは(大人もそうかもしれませんが)みんなと違うと注目され、ときにはそれがいじめの対象となることがあります。人はみなそれぞれ違って当たり前ののに誰かが大騒ぎすると迎合する傾向があります。いじめのニュースを耳にするたびに悲しくなります。

一方で、最近医療においても従来の均一化された治療から、同じ病気であっても遺伝子の違いや治療の反応性によって治療が異なる個別化治療がここ数年進んできております。いわゆるテーラーメイド(日本的に言えばオーダーメイド)治療です。これにより治療効果はさることながら副作用の軽減も期待されてきております。病院は病気を治すためにあるところですが、必ずしも患者さんが行きたい場所とはいえず、抗がん剤と言えば、イコール副作用とかかえって命を縮めるといったことがまことしやかに言われます。最近分子標的薬が花盛りで必ずしも副作用のないものもあります。この十年ほどで治療は大きく変革しております。より副作用なくしかも効き目の強い薬が開発されることも夢ではない時代がやってくることを期待されます。我々もそれを願い、患者さんの治癒のために奮進していきたいと思います。新しい年が皆様にとってよい年であることを祈っております。

副院長 小林 良二

◆特集

在宅医療推進研修会の 開催報告

患者紹介専用窓口 開設のご案内 各病棟のご紹介

病院理念

患者さんにとって最適な医療を行う

病院基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

在宅医療推進研修会の 開催報告



ヤンセンファーマ株式会社との共催で『北海道における血液疾患患者の在宅生活と医療を
考える会』をZOOM開催いたしました。

全2回、どちらも太田副院長が座長を務め、延べ200人超の方にご参加いただきました。

第1回は9月28日に『在宅輸血の取り組み「家で過ごしたい」を叶える一歩がすぐそこに』を
テーマに掲げて行いました。

第一部は当院の内科部長の杉田医師が『慢性GVHDを分かり易く解説』と題して講演し、第二部は
杉田医師をファシリテーターとして、『明日から始められる在宅輸血&抗がん剤のいろは』を
HOME CARE CLINIC N-CONCEPT 院長の宮下直洋先生とNPO法人 血液在宅ネット 理事長
大橋晃太先生にご講演頂きました。

宮下先生は札幌、大橋先生は東京で在宅医療に携わられており、在宅輸血における地域差は非常
に興味深いものでした。

第2回は10月26日『終末期を巡る地域連携「地元で過ごしたい」を叶える一歩がすぐそこに』
をテーマに掲げました。

第一部は当院内科医長の岡田医師が『多発性骨髄腫を分かり易く解説』と題して講演し、第二部は
岡田先生をファシリテーターとして、『家族への関わり方と
終末期リハビリ・薬剤治療での症状緩和』をHOME CARE
CLINIC N-CONCEPT 院長の宮下直洋先生と訪問看護さ
くらステーション理学療法士の菊田翔太先生にご講演頂き
ました。実際に患者さんのご自宅で行われている5分間体操
を実演し、会場参加者と一緒に体を動かしました。

このような講演会を通して北海道の医療機関・関係事業所
の皆様在宅輸血・在宅化学療法に関する興味を持って頂き、
患者さんの過ごし方の選択肢が増えるきっかけになること
を願っております。

在宅輸血・在宅化学療法共に実際に行うにあたってはス
タートアップへの支援やバックアップ体制、診療報酬のあり
方も課題です。すぐに解決ができないこともたくさんありま
すが、方々からお力添えを頂きながら北榆病院が出来ること
から取り組んで行き、さらなる地域医療の発展に寄与してい
けるよう精進していきます。



《患者紹介専用窓口開設のご案内》

2023年11月1日 当院医療連携室内に、「医療機関向け患者紹介専用窓口」を設置いたしました。新患外来受診やセカンドオピニオンの調整、また、当院の担当医へお繋ぎする窓口としての役割を担っています。

医療連携室は、紹介患者さんの受入れをおこなう前方連携（主に他医療機関からの診療予約、他院への患者紹介予約等）と、入院中の患者さんの退院支援をおこなう後方連携（退院調整・医療福祉相談）で構成され、患者さんの支援にあたっています。この度、各方面からのご要望を受け、患者さんの受け入れに関わる前方連携の体制を強化いたしました。また、「(代表)電話が繋がりにくい。」との現状を解消すべく、医療機関向けの紹介専用電話を設置しました。他医療機関にとって紹介しやすい窓口となること、よりスムーズな連携をおこなうことを目指しています。

具体的なご紹介方法

- ① 新患外来の受診依頼は、**予約申込書**(当院ホームページ内「医療関係者の方へ」→「患者紹介専用窓口」ページよりダウンロード可)と**診療情報提供書**と**各種検査データ**をFAX送信いただくだけで受け付けます。(下記【外来受診の予約方法】参照)
患者さんからのご予約でも診療情報提供書を確認させていただきたいため、できる限り医療機関を通してのご紹介をお願いしています。
- ② 入院のご相談や、緊急を要する外来受診のご相談は、これまで通り医師同士での相談、調整とさせていただいておりますため、新たに設置した電話番号におかけください。担当医にお繋ぎします。
引き続き院内外の皆様のご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

《医療機関向け》患者紹介専用窓口

FAX 011-865-0107 (24時間受付)

電話 011-330-5046 (平日9:00 ~ 17:00)

- ① 新患外来受診・セカンドオピニオンの調整をいたします。(FAXのみで受け付け可能です)
- ② **入院**のご相談は、診療科担当医師へお繋ぎいたします。
(医師同士のご相談を前提としています。ご担当先生からのご連絡をお願いいたします)

外来受診の予約方法

FAXで
お申込み
ください

専用FAX: 011-865-0107 (受付時間: 24時間)

※16:30以降の申し込みは、翌日対応いたします。

専用電話: 011-330-5046 (受付時間: 平日9:00 ~ 17:00)

◆患者さんからのお電話は代表番号におかけください。(二次検診を除く)

「予約申込書」を記入し、「診療情報提供書」「各種検査データ」と一緒に、紹介予約受付担当あてにFAXを送信してください。

「予約申込書」及び、「診療情報提供書」のFAXを受信後、診療科医師等との調整を行い、後日予約日時を確定いたします。

※時間を要しますので、患者さんが外来にいらっしゃる場合はご帰宅願います。

予約
確定

【受診予約票】をFAXします。

予約日時及び来院時の受付手順等をご案内いたします。

【受診予約票】は、患者さんにお渡しください。





病院紹介シリーズ

各病棟のご紹介

1 病棟 病棟科長 坂田 由美子

当病棟は、地域包括ケア病棟となっております。退院後の生活を患者・家族と話し合いながらADL向上とセルフケア獲得に向けた援助を行っています。

また、理学療法士・退院支援看護師・メディカルソーシャルワーカー、栄養士・薬剤師、地域のケアマネなど様々な職種と連携し、リハビリ・在宅サービス・訪問看護などの調整を行っています。



2 病棟 病棟科長 畑 理恵子

整形外科と透析血管外科・腎臓内科の混合病棟です。即日入院や臨時手術が多く短期間で退院される方も多ですが、退院後のサポート体制や受け入れ先の調整が必要で長期的に入院されている方も沢山います。術前術後の看護ケアの他、患者さんが自分の気持ちを整理し納得した退院が迎えられよう、それぞれの専門職が力を発揮し、皆で頑張っています。

令和6年も毎日バタバタしながら皆で協力し合って乗り越えていきたいと思えます！



3 病棟 病棟科長 佐々木 智子

小児思春期科で0歳から20歳代までの患者さんがいる病棟です。長期入院になることが多いので、安心して治療が受けられ、退院後の生活を見すえて様々な取り組みをしています。乳幼児は色々な経験ができるように保育士と共に発達の支援をしています。小学生以上は勉強が継続できるように学校等と連携しています。令和6年は子どもと家族の笑顔が少しでも増えるように取り組んでいきます。





5 病棟 病棟科長 島津 菜穂子

血液内科の病棟です。

30床の無菌病室があり、白血病・骨髄異形成症候群・悪性リンパ腫などの血液疾患をもつ患者さんに、化学療法・輸血療法・造血幹細胞移植などの治療を行っています。

患者さんの多くは、入退院を繰り返しながら治療を受けており、長期にわたる入院生活を支えるため、患者さん・ご家族とのコミュニケーションを大切にしながら看護を提供しています。また、夏祭りやクリスマスにイベントも開催し、入院生活でも季節を感じられる工夫も行っていきます。



6 病棟 病棟科長 乾 結

院内で一番規模の大きな、病床数49床の病棟です。診療科は、腎臓移植外科、泌尿器科、血液内科です。患者さんが安心して、手術や化学療法を受け退院を迎えられるように、患者さんやご家族のご意向をうかがいながら、科学的根拠に基づいて看護を実践することを大切にしています。

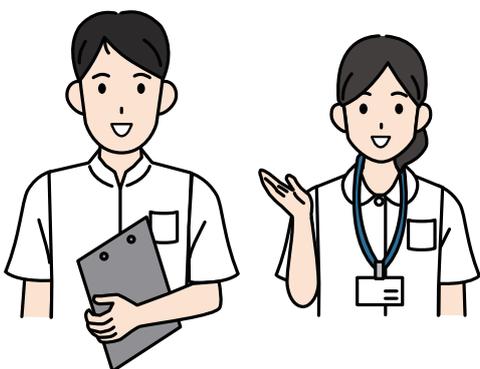
元気のよい朗らかなスタッフが多くおり、活気のある病棟です。患者さんが過ごしやすく、職員も働きやすい病棟づくりに取り組んでいます。



7 病棟 病棟科長 石山 泉

血液内科の病棟となっております。長期入院の患者さんも多いため、長いコロナ禍での面会制限が緩和されたことは、患者さんやご家族にとって、安らぎに繋がっていると改めて感じております。

多職種で連携しながら、患者さんにとって安心・安全な医療を提供できるよう、令和6年も、病棟スタッフ一丸となって、取り組んでいきます。



8病棟 病棟科長 佐藤 春奈

消化器内科を主科に、血液内科の治療も行っている30床の病棟です。

患者さんが望む療養生活を送ることができるよう、チームで話し合い、多職種とも連携して支援を行っております。

明るく穏やかな雰囲気、スタッフは互いに協力し合い、相談がしやすいチームになっています。

令和6年もスタッフ一丸となって、患者さんとご家族に寄り添う姿勢を大切に、温かい看護を行ってまいります。



9病棟 病棟科長 倉本 朗

主に消化器外科や肛門外科の病棟です。最近では周手術期だけではなく、終末期や緩和治療の患者さんも多くなっています。患者さんのもとの生活スタイルや背景を大切にしながら、患者さん、ご家族が安心して治療や看護を受けられるよう、様々な職種と連携しながら日々がんばっています。

スタッフ同士の関係も良好で、日々協力し合っており、明るく活気のある病棟です。

令和6年もスタッフ一丸となって、患者さんとご家族に寄り添う姿勢を大切に、温かい看護を行ってまいります。



10病棟：緩和ケア病棟 病棟科長 富川 将史

緩和ケア病棟は、がんなどの病気に伴って生じる様々な苦痛を和らげながら、患者さんとご家族が自宅に近い雰囲気の中で療養するための病棟です。緩和ケア病棟と聞くと少し暗いイメージがあるかもしれませんが、季節に合わせてイベントを行うなど一般病棟とは一味違った温かみのある病棟となっています。また、患者さんやご家族とのコミュニケーションを大切に、最期までその人らしく療養していただけるよう支援を行っております。

今後も患者さんとご家族に『その人らしく』過ごしていただけるよう、スタッフ一同努力していきたいと思っております。





HCU 病棟科長 森山 美保

当院のHCUは、診療科を問わず病態が重症化し、一般病棟での管理が困難な患者さんが入床されます。人工呼吸器などの高度医療機器の管理、ハイリスク薬剤の管理、患者家族への意思決定支援など私たちに求められるスキルは多岐に渡ります。チームメンバーで共に学び、話し合いそして協働し、最善の看護を提供できるよう日々取り組んでいます。



手術室 病棟科長 HCU(兼) 森山 美保

当手術室では年間1600件程の手術が行われています。全身麻酔下のダヴィンチ手術などの高度な手術だけではなく、透析患者さんの局所麻酔下で行う緊急手術が多く発生するのが特徴です。患者、家族の「手術」という大きなイベントを、安全で安心して受けられるようにチーム一丸となって取り組んでいます。



人工臓器治療センター (AOC) 病棟科長 渡辺 一成

札幌では最も多くの患者さんが透析を受けている透析室です。

月水金・火木土の午前・午後で2部体制の透析を行っております。西棟82床、東棟14床の計96床のベッドは、療養環境とアメニティに配慮し約270の方が透析を受けています。近年、透析患者さんの高齢化が進んでおり自宅での生活や通院等、家族を含めた援助・指導が必要な方が増えています。スタッフは看護師40名・看護助手4名・臨床工学技士16名が臨床を経験しながら色々なキャリアを身につけ頑張っています。院内外において勉強する機会が豊富にあり、毎年地方・全国で学会発表をしています。



看護部 外来 病棟科長 志水 美香

高齢患者さんや終末期患者さんが多くなっている外来で外来看護師は、患者さんが住み慣れた住居で安全、安心に過ごしてもらえるように多職種と協力しながら外来看護に励んでいます。新型コロナウイルス感染症の蔓延では、外来通院に不安を訴える患者さんご家族も多くなりましたが、COVID-19だけでなくインフルエンザなどの感染対策を徹底、継続することで安心して外来通院してもらえるようにしていきます。これからも職員の接遇、待ち時間対策、外来での安全な看護の提供など少しでも外来患者さん、ご家族の満足につながるよう取り組みを行っていきます。

外来診察担当一覧

■ 午前 □ 午後

(令和6年1月4日現在)

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科	太田 小笠原(正) 小笠原(勳) 相庭	小林 今村 日高	小林 今村 杉田 小島	岡田 高橋 小島 【SO外来】 小林 (15:00~16:00) (完全予約制)	小林 小笠原(正) 岡田 宮下	太田 今村 宮下	太田 小林 日高 荒	杉田 小津 荒	小林 小笠原(正) 岡田 杉田	今村 小笠原(勳) 野津	交替医師
消化器内科 (予約診療) 午前のみ 新患可	片桐 佐賀	大泉 (15:30まで)	佐賀 大泉	高野 齋藤	齋藤 大泉/佐賀 (隔週交代)	片桐 野村	高野 野村	片桐 齋藤	片桐 高野	野村 佐賀	
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村		
循環器内科					交替医師		交替医師				
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	太田 佐藤/服部 太田 (隔週交代)	佐藤/服部 太田 (隔週交代)	目黒 服部	堀江 堀江 高橋	堀江 高橋 高橋 (14:30~)	高橋 (14:30~)	谷山 山藤	堀江 佐藤 (隔週)	交替医師
血管外科 6/1より 診察枠追加	熱田		熱田								
肛門外科	小野寺		山内	堀江	高橋	小野寺	小野寺		堀江	高橋	交替医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30~) (予約診療)				東山 (予約診療)		三浦(9:30~) (予約診療)		東山 (予約診療)		
	東山(午前のみ予約診療)						東山				
腎臓内科	山田						山田				
整形外科	高橋 大野		東 大野		高橋		東 大野		東 高橋		
小児 思春期科	小林(良)	堀	佐野 堀	堀	柳	大島 野	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)		松島 小林(良)	柳 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	交替医師
スリープ外来			高橋								
ペインクリニック 緩和ケア (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦									
歯科 (完全予約制)	加藤		加藤/大畑(第2・4週のみ)		加藤		加藤/北大医師		加藤		

- ※1 糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。
- ※2 金曜日午後の小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。
- ◇ 都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約 電話受付 【平日のみ】 午前 9 時00分～ 12時00分 / 午後 13時30分～ 16時00分
予約専用電話 TEL 011-865-0201

歯科予約 【平日のみ】 午前 9 時00分～ 11時30分 / 午後 13時30分～ 16時30分
TEL 011-865-8800 (歯科直通)

編集後記

明けましておめでとうございます。クリスマスにはじまり、お正月などイベントが沢山ありましたね。私はあっという間に一年が過ぎてしまったな…という感覚があります。お正月にも新鮮味を感じなくなってきました。さて、今回の広報誌エルムはボリューム感たっぷりです。是非！最初から最後までお楽しみください。今年も広報誌エルムをどうぞよろしくお祈りします。(A・K)



診療科目
 外科・消化器外科・血管外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住所 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号
 TEL: (011) 865-0111 FAX: (011) 865-9634

交通 地下鉄白石駅5番出口から環状通り 北の方へ徒歩5分左手

ホームページ <https://www.hokuyu-aoth.org/>

